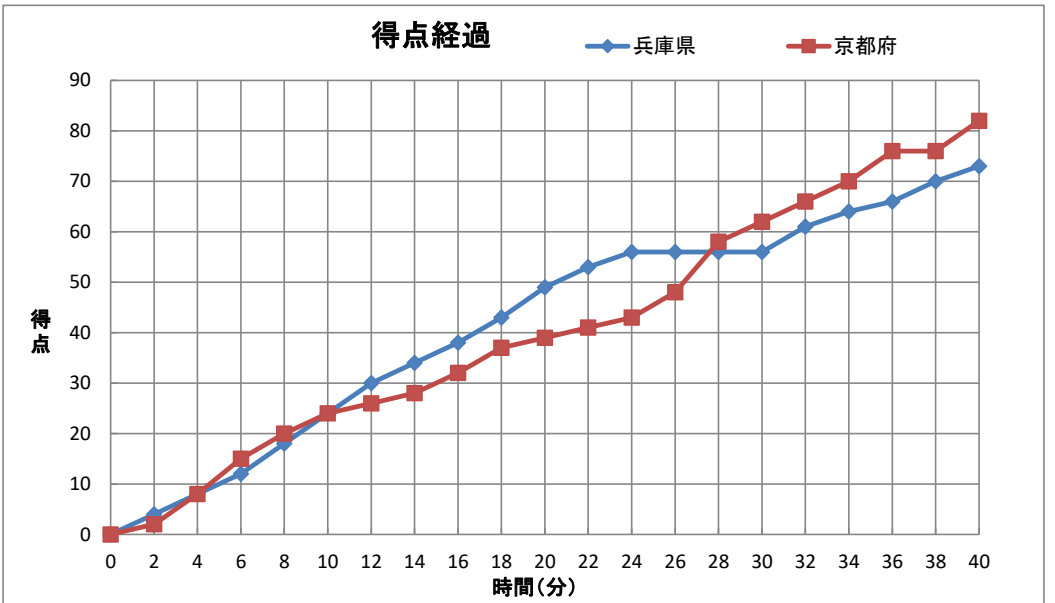


個人トータル表

少年男子		令和5年8月13日		13:20 開始													
決勝		グリーンアリーナ神戸		A													
兵庫県	73	<table border="1"> <tr><td>24</td><td>1st</td><td>24</td></tr> <tr><td>25</td><td>2nd</td><td>15</td></tr> <tr><td>7</td><td>3rd</td><td>23</td></tr> <tr><td>17</td><td>4th</td><td>20</td></tr> </table>	24	1st	24	25	2nd	15	7	3rd	23	17	4th	20	82	◎ 京都府	
24	1st	24															
25	2nd	15															
7	3rd	23															
17	4th	20															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 4	福本 有都	21	2	4	7	2	* 4	田中 夢大	19	3	5	0	3				
5	大坪 蒼哉	6	1	1	1	1	5	佐々木 凌汰	10	0	5	0	2				
6	岸田 卓	2	0	1	0	3	* 6	千葉 颯太	0	0	0	0	1				
* 7	松本 晃瑠	17	0	7	3	5	* 7	中西 慶	5	1	1	0	0				
* 8	常深 星良	18	4	3	0	0	* 8	佐藤 凪	16	0	6	4	2				
9	大野 駿	0	0	0	0	0	9	川口 律	4	0	2	0	3				
10	橋 利一	0	0	0	0	0	* 10	神原 龍太郎	11	0	2	7	2				
11	肥塚 琉生	-	-	-	-	-	11	小杉 思	0	0	0	0	2				
* 12	川村 海誠	1	0	0	1	0	12	横尾 理	0	0	0	0	0				
13	齋藤 貫道	0	0	0	0	1	13	藪 元太郎	3	1	0	0	1				
* 14	山本 優斗	6	0	3	0	3	14	上田 雄介	-	-	-	-	-				
15	田中 空雅	2	0	1	0	0	15	恒岡 ケイマン	14	0	7	0	0				
		-	-	-	-	-			-	-	-	-	-				
		-	-	-	-	-			-	-	-	-	-				
		-	-	-	-	-			-	-	-	-	-				
コーチ	沼波 望						コーチ	福嶋 一夫									
Aコーチ							Aコーチ										
合計		73	7	20	12	15	合計		82	5	28	11	16				
クルーチーフ: 細見 竜太																	
1stアンパイア: 堂 國 和 昭						2stアンパイア: 山 口 翔											



TO	1・2Q	3・4Q			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	13:23	:	27:56	34:54	39:38	:	:	:
TeamB	:	:	37:58	:	:	:	:	:

〔戦評〕

【第1Q】互いにマンツーマンディフェンスで始まる。先制したのは兵庫。#4福本の3P、その後も1on1レイアップからバスケットカウントをもらうなどし得点を重ねる。一方の京都も#4田中、#8佐藤のレイアップやオールコートマンツーマンディフェンスからの仕掛けで得点を重ね、残り5分で10-8京都リード。その後、京都は#15恒岡のゴール下での得点を重ね、兵庫は#4福本のキックアウトから#5大坪が3Pを決めるなど互角の戦いを見せ、第1Qは24-24で終了。

【第2Q】開始直後、兵庫#6岸田が激しい1on1のディフェンスから京都のミスを誘い#5大坪が速攻を決める。その後、兵庫はオールコートディフェンスで流れを作り、#7松本のレイアップで残り6分28-32とする。京都は兵庫のタイムアウト後オールコートマンツーマンディフェンスから得点、さらに3-2ゾーンディフェンスで兵庫のリズムを崩しにかかるが、兵庫#7松本がリバウンドをねじ込み、#6岸田も1on1からの鋭いレイアップを決め兵庫が一気に流れを変える。京都は#4田中が1on1、3P、#15恒岡のリバウンドシュートで再び巻き返しを図るも39-49と兵庫が押し切る形で前半を終了。

【第3Q】後半、兵庫#8常深と#14山本の2on2の得点で始まる。一方、京都は#8佐藤の得点、#4田中の3Pを皮切りに1-2-1-1ゾーンプレス、3-2ゾーンディフェンスで流れを引き寄せにかかる。しかし兵庫は#4福本が速攻からダンクを狙いブロックに阻まれるが、コーナー3Pを決め残り7分43-56と主導権を譲らない。白熱した戦いが続く中、京都は#4田中の3P、#10神原のリバウンドシュートで兵庫のファウルを誘い一気に差を詰め残り2分36秒で52-56とする。更に2-2-1ゾーンプレスで兵庫からターンオーバーを誘い連続得点で残り2分で58-56の逆転に成功。兵庫はタイムアウトを取るも、京都がそのままの流れで62-56と京都6点リードで第3Qを終了。

【第4Q】兵庫は#8常深の2本の3P、#4福本の1on1で再び京都に迫り残り7分で68-64とする。京都は#8佐藤が#5佐々木への合わせや個人の1on1で残り5分で再び72-64としたところで兵庫がタイムアウト。その後は互いに気迫あふれるプレイの中、兵庫#7松本がリバウンドシュート、速攻のレイアップ、1on1などで連続して得点を重ねる活躍を見せ残り1分25秒で76-73と迫る。しかし京都#8佐藤が苦しい体勢からもジャンプシュートを決め、最後には#4田中が試合を決める3Pを決め、京都が兵庫の猛追を振り切った。兵庫#4福本も21点を取る活躍を見せたが、京都が粘り強さを見せ82-73と勝利し優勝を果たした。

戦評: 伊崎 信也 記録: 県立西宮高校